

# 会議顛末書

							記 録 者	宮本 匠	
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
	/	/							
件 名	第 2 回長山小学校跡地活用検討委員会								
年 月 日	令和 7 年 9 月 27 日 (土)								
時 間	13 時 30 分から 15 時 00 分まで								
場 所	長山コミュニティセンター 多目的室								
出 席 者	<p>【長山小学校跡地活用検討委員】 別紙のとおり</p> <p>【事務局】 管財課：生井課長、清原課長補佐、宮本主事（記録者）</p>								
欠 席 者	3 名(作田委員、樋口委員、牧志委員)								
説 明 者	<p>(1) 長山地区住民向けアンケート調査 (案)：説明者 清原</p> <p>(2) 旧長戸小学校・北文間小学校の跡地活用検討結果報告：説明者 清原</p> <p>(3) 今後のスケジュール：説明者 清原</p>								
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 長山地区住民向けアンケート調査 (案)</p> <p>(2) 旧長戸小学校・北文間小学校の跡地活用検討結果報告</p> <p>(3) 今後のスケジュール</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉 会</p>								
会議録署名人	梅澤委員、山田委員								
傍 聴 人	0 名								
情 報 公 開	<input type="checkbox"/> 公 開		非公開（一部非公開を含む）とする理由						
	部分公開								
非 公 開									

発言者	発言内容
事務局 (生井)	<p>定刻となりましたので、ただいまより、第2回長山小学校跡地活用検討委員会を開会します。はじめに、会議の開催要件を報告いたします。本委員会は、検討委員会設置要綱第6条第2項により、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」と規定されております。本日は、委員15名のうち、12名に出席いただいておりますので、会議の開催定数に達していることを報告いたします。</p> <p>次に、会議の公開について説明いたします。本会議は、原則として公開となりますが、個人に関する情報、法人等の不利益に当たる情報等は非公開とさせていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでは、会議に入ります。</p> <p>設置要綱第5条第2項により、委員長は委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となると規定されておりますので、斎藤委員長に議長を務めていただき、議事進行をお願いしたいと思います。斎藤委員長、よろしく申し上げます</p>
斎藤委員長	<p>はじめに、本日の会議録署名人を決めたいと思います。私からの指名で恐縮ではありますが、今回は「梅澤委員」と「山田委員」にお願いしたいと思います。お二方がいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《両名とも了承》</p> <p>ありがとうございます。事務局で会議録を作成次第、内容をご確認の後に、会議録にご署名いただくこととなりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは議事を進めたいと思います。</p> <p>「議事（1）長山地区住民向けアンケート調査（案）」が本日の主題となりますので、先に「議事（2）旧長戸小学校・北文間小学校の跡地活用検討結果報告」から審議したいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
	《資料に基づき事務局から説明》
斎藤委員長	<p>ただいま、事務局から説明がありました件について、ご意見やご質問などがあれば挙手の上、ご発言ください。</p>
梅澤委員	<p>北文間のアンケート結果が31件と非常に少ないです。どのように実施したのでしょうか。</p>
事務局 (清原)	<p>手法としては、自治会長に世帯分のアンケート用紙を渡し、自治会内の各戸に配布いただきました。自治会により回答数のばらつきがありましたので、協力的な自治会とそうではない自治会があったものと推察されます。市としても31件という数字は非常に少ないという印象です。</p>
斎藤委員長	<p>長戸中学校が売却された後、荒れ地になっているとのことですが、売却してどのような活用に至ったのでしょうか。</p>
事務局 (清原)	<p>宅地開発が行われましたが、現在そこにお住まいの方はいません。</p>
斎藤委員長	<p>一度売ってしまった場合、相手方からの買い戻しというのは難しいですね。</p>
事務局 (清原)	<p>そうですね。市としても当該地の利活用希望はありませんので、買い戻しをする考えはありません。</p>
斎藤委員長	<p>もし、一度民間企業さんが来て、事業がダメになってしまった場合には、放置されてしまうリスクもあるということですか。</p>

事務局 (清原)	売却の場合、そのリスクはございます。
斎藤委員長	他にご意見などありませんでしょうか。ないようでしたら議事(2)については以上とさせていただきます。つづきまして、「議事(1)長山地区住民向けアンケート調査(案)」に進みたいと思います。事務局からご説明の方お願いいたします。
	《資料に基づき事務局から説明》
斎藤委員長	ありがとうございます。事前に送っていただいた委員の意見も踏まえて、皆さまの意見をお聞かせいただきたいと思います。
梅澤委員	私自身が老人関係のサロンをやっておりまして、このようなアンケートがあるということとその集まりで説明をさせていただきました。その際に、少し分かりにくいという声がありましたので、市の方でもフォローをお願いできればと思います。よろしくをお願いします。
斎藤委員長	北文間小学校のアンケート結果を見ると、外国人学校は嫌だ、太陽光発電は嫌だという意見があり、「〇〇が嫌だ」という設問があっても良いと感じました。住んでいる方の中にはどのように活用してもらっても良いけれど、これだけはやめてほしいという意見をお持ちの方もいると思います。特に、何でも良いという方向けに、例えば「これは嫌だというものを記述してください」といった、マイナスの意見を出す設問があってもいいのかなと思いました。
事務局 (生井)	行政の立場では、例えば「太陽光発電設備は嫌ですか?」といった聞き方はできません。ただし、先ほど斎藤委員長がおっしゃったように、「これは嫌だ」ということを記述いただく形であれば問題ありません。
斎藤委員長	「太陽光パネルは嫌ですか?」というような聞き方はダメということですね。ネガティブな意見を書いたらまずいと考える方もいると思われるので、あえてそのような意見を書き出す場所を作るというのはどうでしょうか。
事務局 (清原)	北文間のアンケートでは、結果的に「これは嫌だ」という意見が多く挙りました。
事務局 (生井)	北文間の場合、太陽光パネルやドローン練習場などができるという噂が広がり、反対の意見がアンケートを通じて多く寄せられた可能性があります。
斎藤委員長	「これは嫌だ」という意見を出す場があって、それも加味して活用方法が決まっていくという段階を踏んだ方が、跡地活用の納得性が高くなると思います。
事務局 (清原)	設問のQ20とQ21の間に「これは嫌だというものがあればご記入ください」という設問を設けるイメージでしょうか。
酒井委員	自由記述にしてしまうと、その集約が難しいのではないかと思います。集約しやすい設問を作り、その他で自由意見とした方が良いかもしれません。
斎藤委員長	それでは、Q21がそのようなことが書ける記述欄、Q22に自由記述欄という流れでよろしいでしょうか。
上野委員	「このような活用は嫌ですか?」と聞けば意見を言う人はいますが、記述式でそ回答する方は少ないと思います。でも、本当は言いたいという人はいると思います。蓋を開けてみたらこれは嫌だったとなるのを避けるために、このような活用は望まないという意見は聞いた方が良いと思います。
斎藤委員長	それでは、記述式で「こんな活用は嫌だ」という設問を作る方向でお願いします。

事務局 (清原)	了解しました。
斎藤委員長	Q20で、「緑あふれる憩いの空間」という項目がありますが、できないことは聞かない方が良くと思います。世の中の流れ的に、管理しきれない街路樹は伐採していく中で、また木を植えるのでしょうか。
酒井委員	芝を整備してそこにちょっとしたカフェのような飲食があるような感じでしょうか。
斎藤委員長	そのように思う方もいれば、森林浴ができる杉並木のようなものをイメージする方もいると思います。「緑あふれる憩いの空間」というような広い聞き方は怖いと思いました。
事務局 (清原)	確かに、その上の項目「芝生広場」と重複しているような気はします。ちなみに松葉地区では「既存の樹木を活かした緑あふれる空間」という聞き方をしております。松葉地区では住民の皆さまとの対話を重ねる中で、既存の樹木を残してほしいという要望を多くいただいたため、このような設問を入れました。長山地区でも同様の考えをお持ちの方もいるのではないかと考え、「緑あふれる憩いの空間」という設問を設けましたが、抽象的過ぎるかもしれません。
斎藤委員長	自然に関する設問がないと言われてたらそうでも無いわけで、とりあえず聞いて意見を集めた結果、そのようなことをイメージしていなかったとなるのであれば、この設問は無い方が良く私は思います。照井委員いかがでしょうか。
照井委員	そうですね、抽象的かなと思います。やはり、蛇沼公園みたいにずさんな管理をされてしまっては困りますし、そこは市がどのように管理していくかということも含めて考えた方が良くのかなと思います。ただ植えて管理されなくて木が倒れてしまうということになってはまずいので。まず公園にしたければ公園というような目的を決めたら良いのではないかと思います。
上村委員	極論と言いますか、仮に何の施設であれ緑あふれる憩いの空間にすればいいのではないのでしょうか。スーパーなり小さい飲食店なり、どんな施設でも緑あふれる憩いの空間は作れるので、この項目の必要性はあまり感じません。
斎藤委員長	緑化に関することをとりあえず入れておくことで、回答がばらけてしまうように感じます。
山田委員	「夏祭り」と「緑あふれる」という言葉は、公園みたいなものを想定しているということでしょうか。その一つ下の「スポーツや体を動かすためのグラウンド等」というのも公園を想定しているように感じます。
事務局 (清原)	「スポーツや体を動かすためのグラウンド等」の意図は、野球やサッカーのようなスポーツ競技を行う場所ということを想定した設問になります。
山田委員	それであれば、「夏祭り」と「緑あふれる」というところはまとめて公園みたいなイメージのものを入れてはどうでしょうか。
斎藤委員長	芝生広場（夏祭りやイベントなどを想定）という形で、芝生広場をメインに出すということですね。
野口委員	結構、犬を飼っている方も多いので、犬の散歩場所という意見も出るような気がします。
斎藤委員長	ドッグランなどはニーズがありそうですね。例えばどんな公園にするかというのは今後考えていけば良いと思います。少し話が広がってしまって申し訳ないのですが、

	松葉小学校で行っている夏祭りの会場として、広場を残しておきたいということもあるかもしれませんがね。今後は長山と一緒にやろうみたいな流れになるのでしょうか。
酒井委員	中学校は残るので、中学校でやるのではないのでしょうか。
斎藤委員長	どうなるのかわからないので、そういうことをイメージするのに芝生広場がメインで、括弧で「夏祭りやイベントを想定」とするとイメージが湧きやすいですね。
照井委員	松葉小学校のグラウンドを利用する団体は、今後どうなるのでしょうか。
事務局 (清原)	松葉小学校のグラウンドには保健所が来ますので、グラウンド自体は小さくなります。そのため、これまでと同様に野球やサッカー等を行う事はできなくなりますが、身体を動かすスペースは残りますので、その状況で松葉小学校グラウンドを使うかどうかということになります。
照井委員	スポーツ団体との合意は取れていますか。
事務局 (清原)	合意は取れていません。各団体とは、アンケート結果が整った段階で、個別に対話を行う予定です。対話の中で、代替場所としてはこのような場所がありますといった提案もさせていただきます。既存の活動団体への案内は、長戸小・北文間小・城南中でも同様に対応させていただきました。
斎藤委員長	そこまでケアしていただけるのですね。部活動の地域移行でテニスコートが潰されてしまった北竜台学園の生徒は、テニスコートを借りながら部活動を行ったり、民間に預ける形で、地域移行と言ってる割に場所がどんどん潰されてかわいそうだなと思うのですが、そういったことも念頭に置いてアンケートに答えなければなりませんね。
上村委員	答えたくない設問は答えなくても大丈夫なアンケートでしょうか。
事務局 (清原)	ほとんどの設問が、回答しないと先に進めない作りになっています。
上村委員	年齢とかを答えたくない人がいるかもしれませんが、跡地のことについては答えたいけど、全部答えないと意見を出させてくれないというのであれば、意見が集まらないのではないかと思います。跡地活用に関係ないような質問が続き、最後の方に跡地活用について聞かれているような感じに見受けられました。長山地域の状況を知るためのアンケートというのは分かるのですが、そこを飛ばして跡地の活用についてだけを答えるアンケート方法には変えられないのでしょうか。細かな情報が跡地活用に活かされるのかなと疑問に思いました。また、このようなことを考えているので情報が欲しいというような聞き方ができれば分かりやすいと思います。
事務局 (清原)	なかなかチラシだけでは説明が難しいのですが、年齢は世代によるニーズの違いを把握したいという意図があります。たとえば、20代30代は子育て支援施設といった流れになるでしょうし、ご高齢の方であれば公園や医療関係が多くなるのが推察されます。こういったものをクロス集計するために年齢の項目を入れさせていただいています。また、世帯構成や空き家については、前回の会議でも議論がありましたが、市としては長山小学校跡地活用検討委員会の事務局という立場で来ていますが、一方で北竜台市街地という大きなエリアを面で考えなければならないということで、市役所の中で課を横断したワーキングチームを作って協議しております。議論の中でやはり「空き家」というワードは外すことができませんので、空き家に対する現状や困り事等をこのアンケートで一緒にお答えいただければ、住民の皆さまが何度もアンケー

	トにご回答いただく手間を省けるため、このタイミングで実施したいと考えております。
照井委員	北文間のアンケート回答率が2%台となっていて、これが民意を反映しているのかなと思います。当時はグーグルフォーム等のWEB回答は使ったのでしょうか。
事務局 (清原)	北文間のアンケートは全て紙で行いました。ちなみに、今の松葉地区のアンケート状況ですが、グーグルフォームと紙併用で大体600件くらいです。住民数約4,500人でこれくらいの回答数です。これが多いのか少ないのかというところは、判断が難しいですが、600件という数字は重く受け止めています。
事務局 (生井)	10月19日までの回答期日としていますので、今から大きく数字が伸びることは考えにくいです。なお、松葉地区では8月下旬の最終週に全戸配布をさせていただいております。
上村委員	グーグルフォームのWeb回答というのは何回でもできるのですか。
事務局 (清原)	できます。
上村委員	例えば居酒屋がほしいという方が何回も回答を行うことで、住民はこういうものを求めているという風にできるということですよ。
事務局 (生井)	おそらくそういったものは、作為的なデータとして集計結果に表れてくるとと思います。チラシではお願いとして「アンケートの回答は一人様1回」と記載をしているところです。
上野委員	例えばメールアドレスを紐付けることで、それを防止することもできるはずですが。
事務局 (清原)	メールアドレスをキーにして重複回答を防止する方法もありますが、回答率が著しく落ち込むことが予想されます。面倒に感じることで、途中で回答を止めてしまうことを懸念し、松葉地区では複数回答はできてしまいましたが、回答率を重視することになりました。ちなみに、松葉地区の現段階での結果を見ますと、跡地活用に求めるものとしては、子育て支援施設が多く、カフェ・居酒屋、芝生広場等も多い状況です。
斎藤委員長	空き家になった時に、すぐに次の人が見つかるようにしてあげられれば、人が入って来やすくなると思います。ちなみに、松葉地区での自由記述はどのような感じでしょうか。
事務局 (清原)	防災に関する話が多いです。防災をしっかりやってください、防災拠点を作ってくださいといった記載があります。あとは日常生活の困り事のようなことも書かれています。回答者の世代としては50代から70代で75%となっています。若者からの意見も取り入れたいということで、松葉小学校PTAさんにご協力頂いてスクリレというWEB連絡ツールで松葉小学校児童の保護者に配信しました。これは長山小学校でも実施したいと考えています。
斎藤委員長	学校で使っているアプリを使用するのはいいですね。50代から70代といった子育て世代ではない方でも子育て支援施設に入れてくれるのですね。
酒井委員	逆にそういう施設があるからこそ、防災というところに結びつくのではないのでしょうか。
山田委員	やはり回収率を上げたい私は思います。アンケートが配布された時に回答しないと、忘れてしまうことが多いです。例えば、再度二次元コードを閲覧したり、長山コミュニティセンターの広報誌「プラザ」で周知することで、忘れていた方たちが回答

	してくれるのではないのでしょうか。意見をもらうのは重要なので、広報に力を入れても良いのかなと思いました。
内山委員	各戸配布ではないのですか。
斎藤委員長	各戸配布となります。アンケート募集期間であることの意識付けの意味で回覧を回すということだと思います。
上野委員	締め切りのある程度前でやると良いと思います。締め切りが近いことを思い出すかもしれません。
斎藤委員長	今何人くらい回答したかを掲示したいですね。広報活動は何回もやった方が良いでしょう。
事務局 (清原)	松葉地区では協議会の広報誌がありまして、そこで「跡地活用のアンケートを行っていますので、是非回答してください」といった広報をいただきました。長山地区でも実施いただけるとありがたいです。
斎藤委員長	大丈夫だと思います。
野口委員	やっていただけると思います。
内山委員	30年ほど前、長山公民館時代にアンケートを取ったのですが、回収率は48%でした。
事務局 (清原)	それはすごいですね。
斎藤委員長	アンケートに関する意見は他にありませんでしょうか。無いようなので、本日の意見を反映させて、アンケートを完成させていきたいと思います。それでは議事(1)については以上とさせていただきます。最後に「議事(3)今後のスケジュール」について、事務局からご説明をお願いします。
	《資料に基づき事務局から説明》
斎藤委員長	現状での回答件数というのは、連絡をすれば教えていただけるのでしょうか。
事務局 (清原)	松葉地区の場合は、アンケート開始から1ヶ月程度経過した段階で、全委員に対してメールで回答状況の報告を行いました。
斎藤委員長	1ヶ月だと遅いかもしれません。2週間ぐらいでコミュニティセンターの入口に今何人回答しているかの張り紙をして、更新していく方が良いと思います。みんなで話しているときに「あなたはやった？」みたいな形で回答してくれる方が増えるかもしれません。真面目に手書きの張り紙でも良いからやりましょう。このあとコミュニティ協議会の会議があり、各自治会長さんが集まるので、10月中旬からアンケートが始まることをアナウンスしてもよろしいでしょうか。
事務局 (清原)	大丈夫です。
斎藤委員長	口頭連絡にはなっていますが、一報を入れておくことで気持ちを備えていただくと、配布物が届いた時に動きやすいと思いますので、今日お伝えしておきます。次回の会議はいつでしょうか。
事務局 (清原)	次回の会議は1月下旬頃を予定しております。
斎藤委員長	次回の会議は1月の第四土曜日でよろしいでしょうか。

	<p style="text-align: center;">《委員了承》</p> <p>それでは次回の委員会は1月24日の13時30分からお願いします。その他、今後のスケジュールに関して何かありますか。</p>
照井委員	<p>来年までに市長に報告して、その後はどうなるかは分からないということでしょうか。</p>
事務局 (清原)	<p>市長に報告するまでがこの委員会の役割となっておりまして、その後に市で実現可能性、事業効果、財源等を検討させていただきます。跡地活用方針が定まった段階で、協議会や各自治会に改めて、協議の機会をいただきたいと考えています。</p>
斎藤委員長	<p>それでは、他にご意見が無いようなので、事務局の方から連絡事項をお願いします。</p>
事務局 (清原)	<p>次回の会議ですが、令和8年1月24日の13時30分から、場所は同じく長山コミュニティセンターで開催いたします。日にちが近くになりましたら、書面で通知をさせていただきますので、ご出席の程よろしくお願いたします。また、住民アンケートにつきましては10月中旬頃から、各自治会のご協力をいただきながら進めていきたいと思っております。アンケートに積極的にご回答いただきますと、民意も精度も高まりますので、委員の皆様にも積極的な周知をいただきますようお願い申し上げます。事務局からは以上となります。</p>
事務局 (生井)	<p>以上をもちまして、本日の会議は終了させていただきます。お忙しい中ありがとうございました。</p>
<p>令和7年度第2回長山小学校跡地活用検討委員会会議録について、上記のとおり相違無いことを確認しました。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>委員長 _____</p> <p>会議録署名人 _____</p> <p>会議録署名人 _____</p>	